

謹賀新年



川西市議会議員
西山博大



川西市長
大塩民生

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、すがすがしい気持ちで新春をお迎えのことと、お喜び申しあげます。
現在の経済状況は、株価がバブル経済崩壊後の最高値を記録するなど、明るい兆しが見られる一方、日々の生活では、景気回復を実感できるまでには至っていないという声も少なくありません。
本市におきましても、依然として厳しい財政状況にある

中で、着実な行政運営が求められております。
このため、議決機関である市議会の役割は大きいものがあります。
その役割を果たすため、昨年4月に議会基本条例を施行し、あらためて市民の皆さまの意見を反映して、議会の活性化に取り組んでいるところであります。
この条例に基づき、特別職報酬審議会の答申を尊重し、議員報酬を減額するとともに、本市の財政事情や近隣他

市の状況などを総合的に判断し、期末手当について議員が自主的に削減する条例の改正案を全会一致で可決したところであり、4月1日から施行いたします。
3月には、新名神高速道路の全線開通が予定されており、市の北部地域はもとより、市内全体が活性化することを期待しております。
どうか、この1年が、皆さまにとって幸多く、実り豊かな年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申しあげます。
さて、本年はこれから5年のまちづくりの方向性を示す、第5次総合計画後期基本計画がスタートする年となります。人口減少や少子・高齢化の進展を見据え、本市の自然や歴史など、地域資源を生かした魅力あふれるまちづくりを推進してまいります。
今年、文化会館や中央公

民館などを集約し、さらには新たな市民ニーズに対応する機能を備えた複合施設「キセラ川西プラザ」が完成します。この施設では妊娠や出産、子育て期に切れ目のない支援を行うための相談窓口を設置。子育て支援の充実も図りたいと考えています。皆さまが「であい、ふれあい、さよえあい」を実感できる、新たな空間になるものと期待しております。
また、市民一人一人の健やかで心豊かな生活を実現していくためには、誰もが健康で

安心して暮らせることが大切です。今後も「かわにし健康マイレージ」をはじめ、健康の維持増進に向けた取り組みを展開してまいります。
人と地域が元気に生き生きと活躍できるよう、また、持続的に発展していくまちづくりに向けて、市民の皆さまと力を合わせて進めてまいりますと考えております。
皆さまにとって、この1年が幸多く、実り豊かな輝かしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

